

常盤小学校 教科名 (算 数)

# 「学ぶ意欲をはぐくみ、基礎的・基本的な知識・技能等の確実な定着を図る指導」

## 1 ねらい

- 本校では、平成21・22年度に深谷市教育委員会の委嘱を受け、算数科の研究に取り組んできた。本年度もその研究を引き継ぎ、算数科の学習を通して筋道を立てて考えたり、内容を分かりやすく伝えたりする力を育成することをねらいとする。

## 2 取組概要

- (1) 学習全体を支え包括する取組 (学習規律育成部の取組)

学習意欲の向上、学力向上のために基本的生活習慣や学習規律の定着を図る。

ア、チャイムで始業・終業 イ、授業時の挨拶

ウ、授業時の姿勢 エ、鉛筆の持ち方

オ、学習用具の準備 等の指導



- (2) 算数学習の基礎・授業のサポートをする取組 (言語・知識技能部の取組)

单元ごとのテストで基礎・基本の定着を図る。

学習資料の準備でコミュニケーション能力の育成を図る。

ア、「発表の仕方」カードの作成と活用 イ、「单元テスト」の作成と実施

ウ、「家庭学習のススメ」カードの活用

- (3) 学習指導案・授業全体をサポートする取組 (授業研究部の取組)

授業形態や授業展開の基本的な流れをつくり、自力解決する力や表現力の育成を図る。

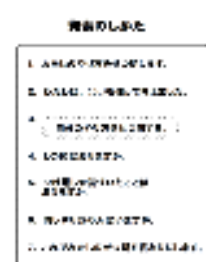
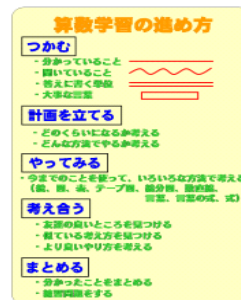
ア、「学習の進め方」カード

イ、「算数ポイントカード」

ウ、「算数コーナー掛け図」

エ、「補助シート」

作成と活用



\* 児童の学力と教員の指導力向上を図る手立て。

①児童に学習の見通しを持たせる。

②1時間の学習に15～20分の作業時間を確保する。

③練り上げに重点をおいて学習を共有し、学習内容の確実な定着を図る。

## 3 成果

- 「学習の進め方」カードの利用で、1単位時間の学習の進め方が分かり、意欲的に学習に取り組む児童が増えた。
- 「発表の仕方」カードの利用で、自信をもって考えが説明できるようになった。また、筋道を立てた説明ができる児童が増え、ひびき合いの場面が見られるようになった。
- 「補助シート」の活用で個に応じた支援ができ、学習意欲の向上につながった。
- 「算数コーナー」にオリジナル掛け図を掲示することで、自力解決に活用できた。
- 「单元テスト」の実施や、その他の練習問題で繰り返し練習することで、基礎・基本の定着につなげることができた。